

彼らは淫魔に操られている

私の中に飼っている淫魔が
男達の無意識の欲望を解放
しているのだ

同じオフィスで仕事をしていた同僚達は
心の奥底で欲望をたぎらせ、
私を犯していたに違いない。

彼らがどんな妄想を抱きながら
私を見ていたのか、
それを思うだけで体が熱くなる。

アハ
アハハハ
見らんちゃ

ハア...

あーん

あーん

あーん

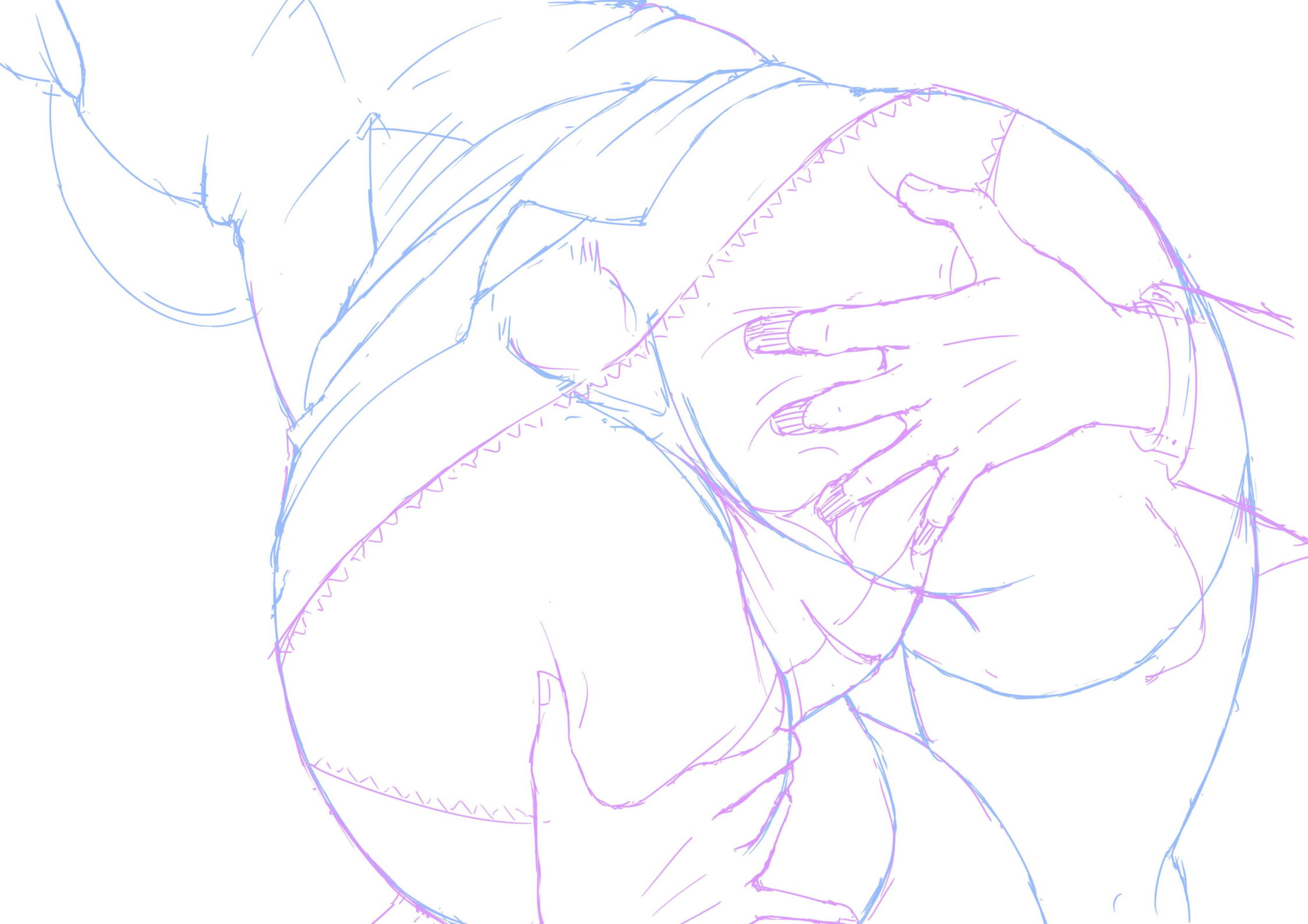
あーん

あーん

あーん







一番恥ずかしいところに
男の人の顔が押しつけられてる

吐息が熱い
体中がじんじんする

そんな近くで見られたら
気が遠くなりそう

また
おんまじ

アア

ハア
ハア

ビビ
ビビ

ズ
ズ

でも、
もっといやらしいとこ見て欲しい

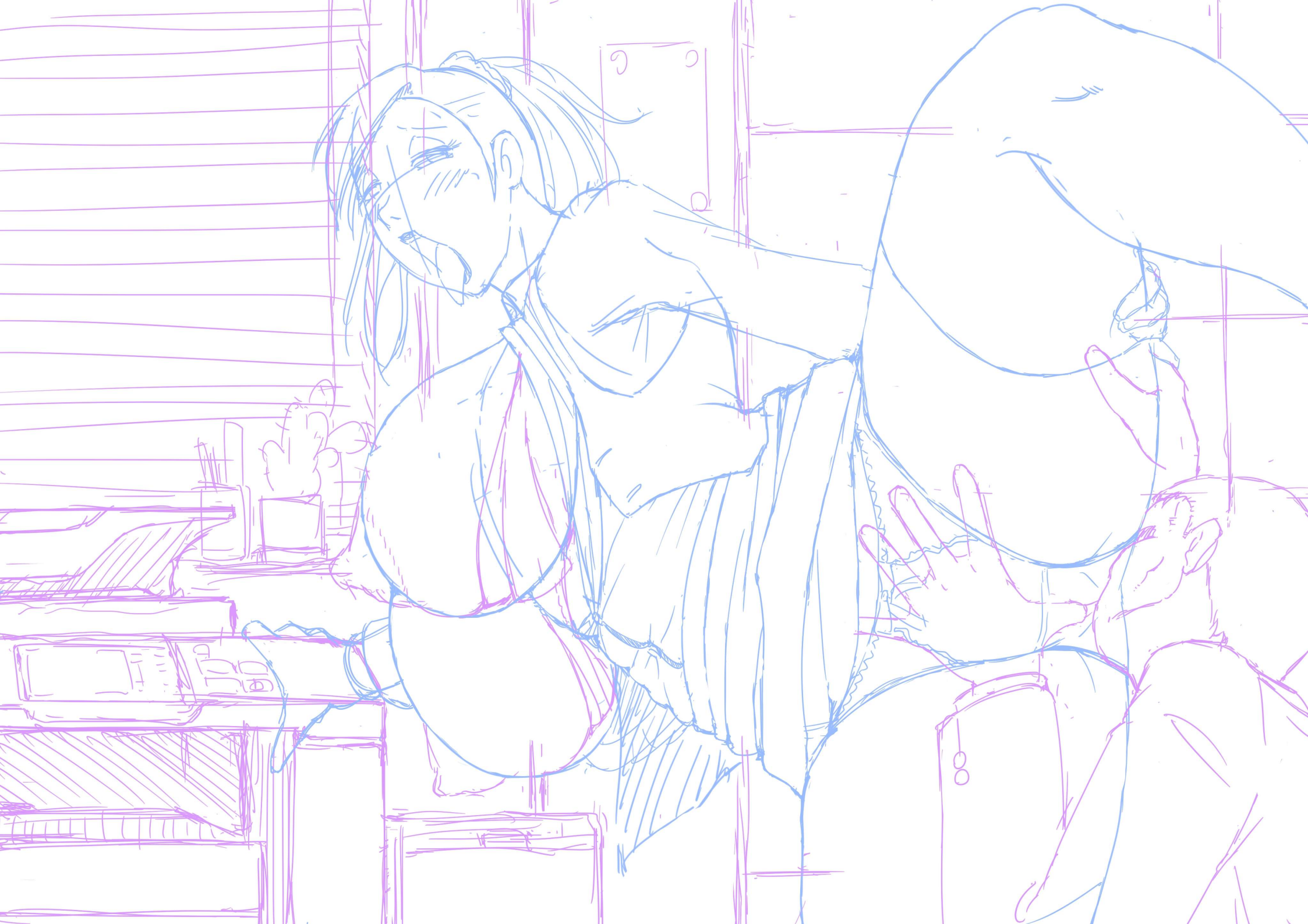
ブル

鼻をこすり
つけなほ"

ビビ

ビビ
ビビ
きちゅう!!





一日中体を触られ続け、
勤務が終わる頃には
あられもない姿にされている。

体は爆発寸前
なにもしなくても
イってしまいそうなほど

もう何日
こんなことが続いているのだらう
永遠にも思える焦らしプレイ

でももう限界

ピク

ピクピク

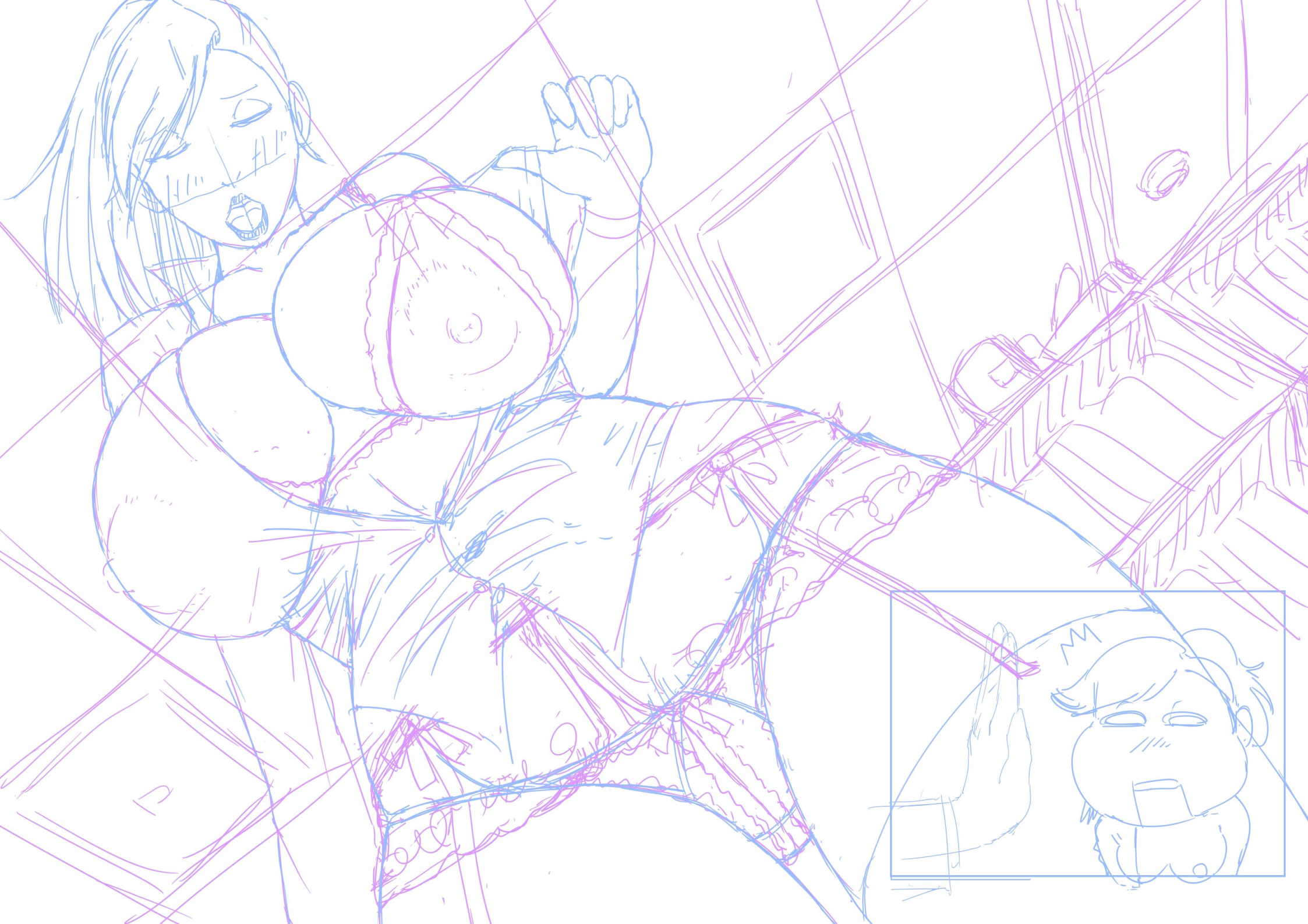
プク

ハア

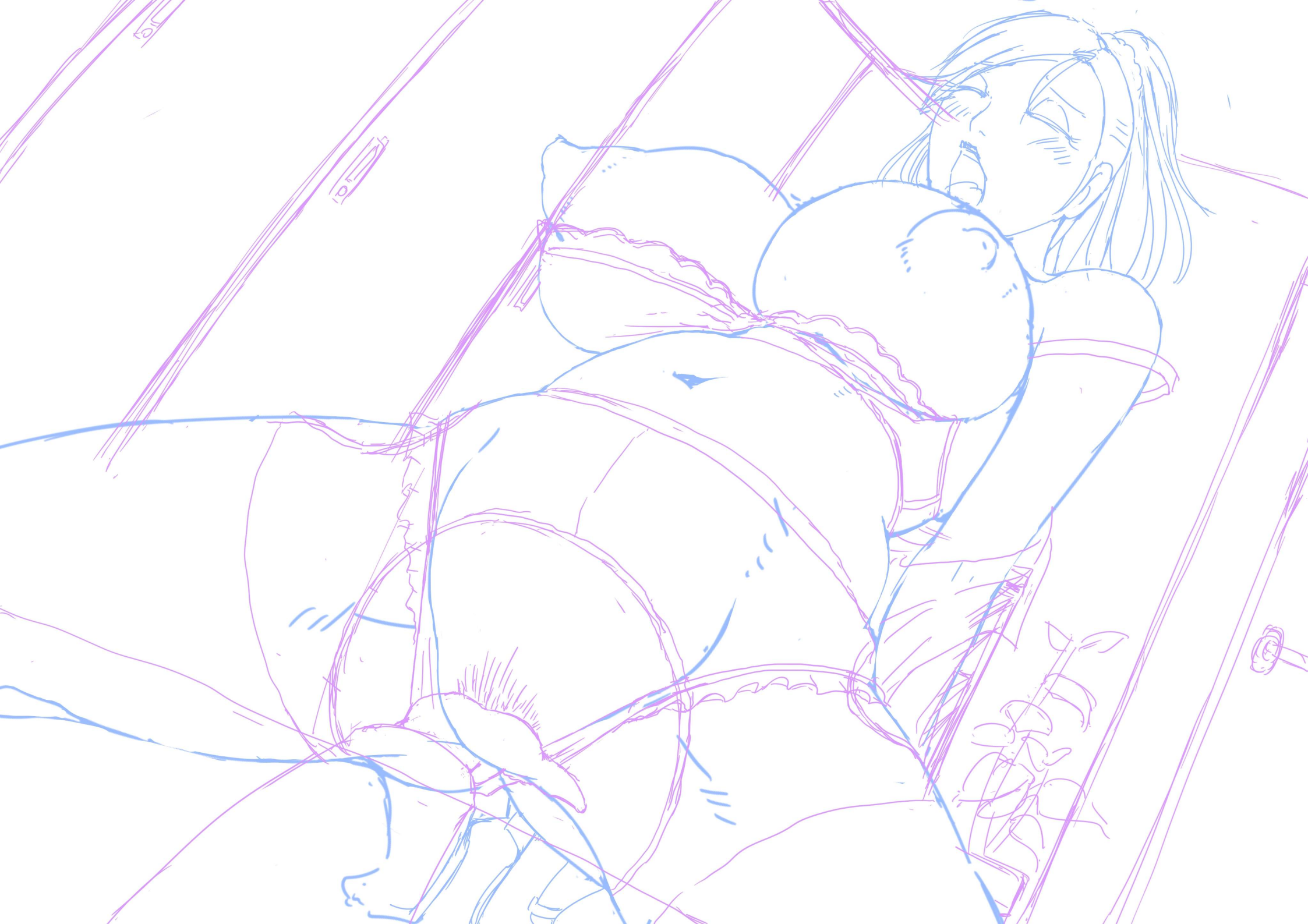
ハア

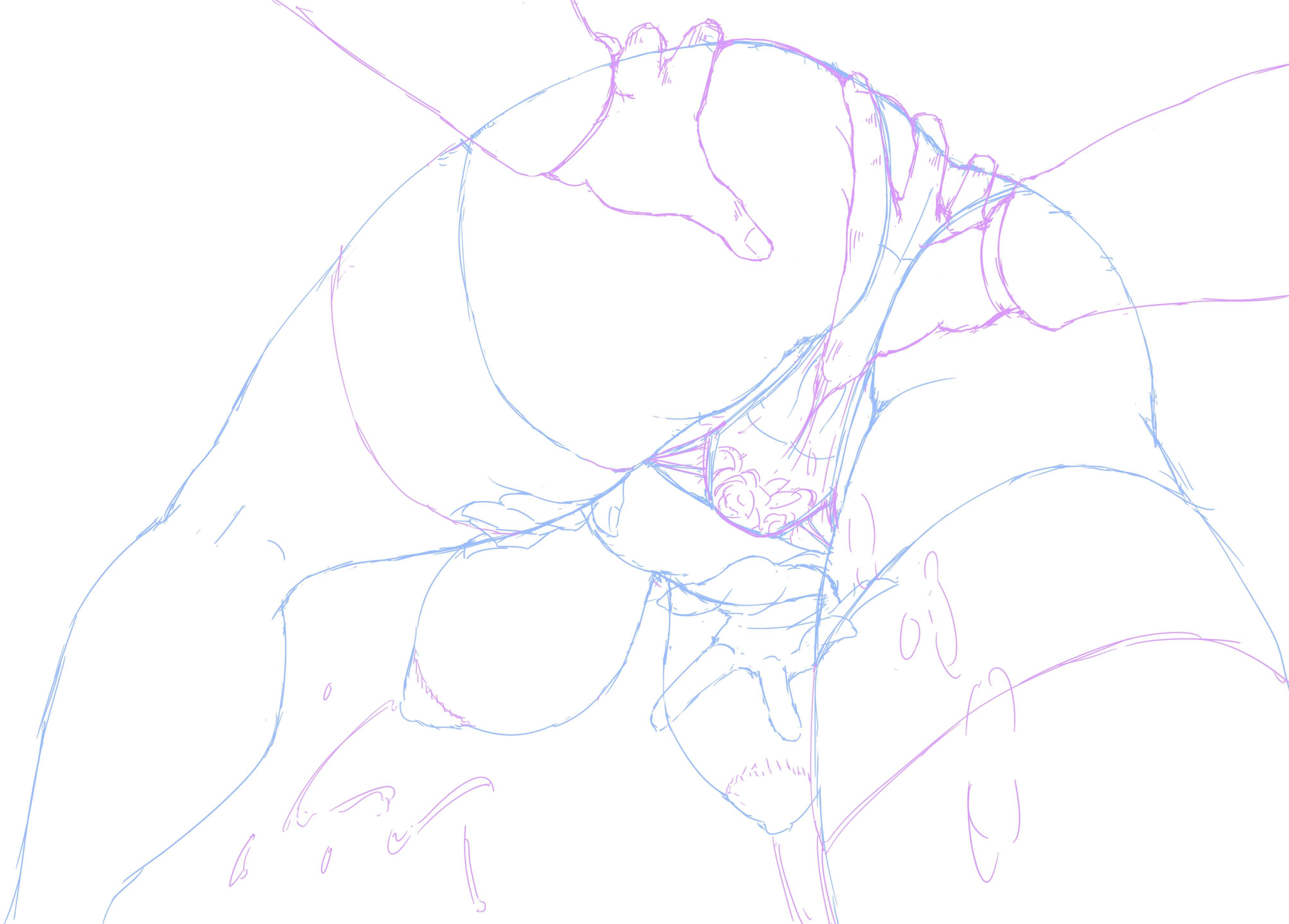
ハア













4/15

